

2年振りの雪山歩き

## 谷川 万太郎尾根 清水峠～舟窪

もともと土樽駅の裏から南に延びる尾根には登山道があったらしい。この尾根は舟窪あたりで吾策新道と交わる。地形図から舟窪は広々としていて極上の場所に見えたので、今回は最初からここをゴールに決めて出発した。

2/11 (土) 晴れ、雪

誰もいない土樽駅の裏からスノーシューで出発し、一番近い杉林に取り付く。急斜面を登り尾根にのると向かいに足拍子山が、眼下には関越自動車道がよく見える。こんなところを歩いている人がいるなんて誰が思うだろう。

天気予報に反して青空も見える。久しぶりの雪山に不安を隠しきれない私だったが、松本さんと氏家君に励まされながらラッセルを楽しむ。

尾根はアップダウンしながらゆるゆると高度をあげると岩場がでて痩せてくる。清水峠の所以か。清水峠の下りは急斜面で立っており、5～6m バックステップでおりた。ゆっくり休憩した後は、2人がどんどん先行してくれるので、しばらく追いつけずトレースを追う。

いつの間にか北ケドノ頭を越えていた。方向が南東に変わると、どっしりした万太郎山が良く見える。あそこが大笹台だろうか。万太郎山のカッコいい北西面に見とれてスマホ撮影に忙しかったが、やっと二人に追いついたので最後のラッセル。大バタテノ頭を見ながら細尾根を進むが雪が重く、舟窪までの100m程度がもどかしい。樹林帯に入った。ここが舟窪だ。東から風がくるので西面に落ちついたが、まもなく風向きが変わり、外での宴会は、乾杯もそこそこにテントに入る。

誕生日のために、今回はケーキを用意してきた。甘いケーキが苦手な松本さんのために考えたピザケーキ。トルティーヤ、パイ生地を駆使して、氏家君が夜を徹して試作を重ねてくれた自信作。ローソク6本たてて前夜祭。お腹がかなり満たされ17:30に就寝。22時に一度起きると、風雪が強くなっていたが、ビールとワインと焼酎を飲み直し、再び就寝。



【日程】

2017年2月11日(土)  
～2月12日(日)

【メンバー】

松本(シ)、氏家、福永

【地形図】 土樽

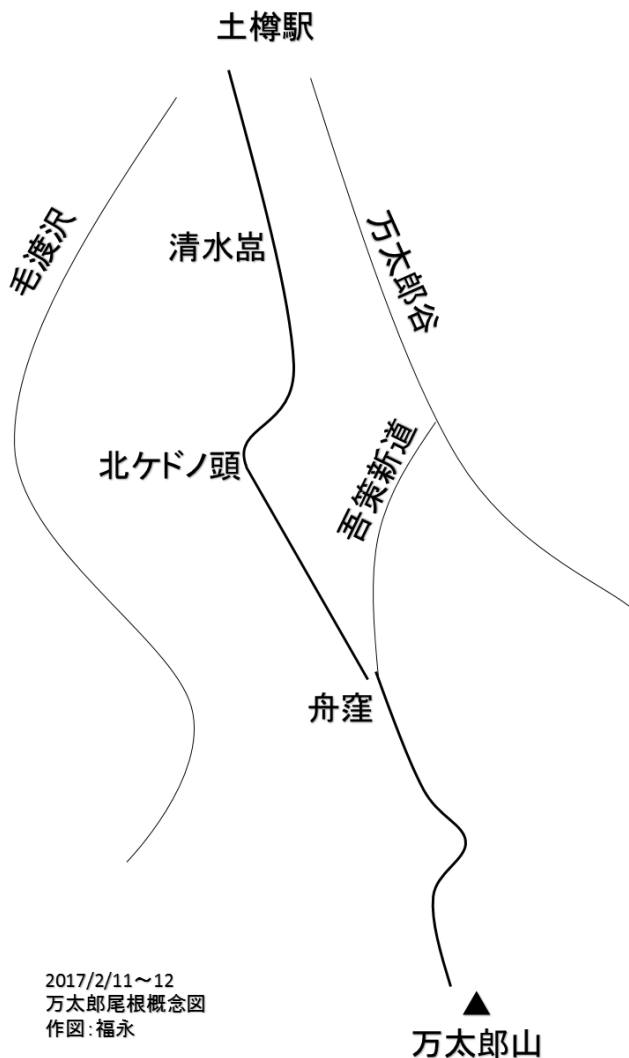
【記】 福永

2/12 (日) 雪

4時起床。急速に冬型が強まりトレースは全部消えていた。おまけに雷鳴まで聞こえた。一晩で50センチは積もったようだ。雪庇も急速に発達していて、尾根の形状が分りにくく慎重にならざるをえない。

昨日、氏家君が踏み抜いた穴に、見事に私も落ちた。新雪が綺麗に50センチ被り、全くわからなかった。まるで落とし穴。スノーシューを履いていると脱出も大変だ。

往きは気が付かなかったが、清水峠には小さなプレートがあった。よく探すと昔の登山道の名残が見える。もっと時間がかかると覚悟した下山だったが、下り調子が功を奏し、順調に下山できた。



2017/2/11~12  
万太郎尾根概念図  
作図:福永

【行程】

- 2/11 (土) 土樽駅 (7:00) ~ 清水峠 (10:30) ~ 舟窪 (13:00)
- 2/12 (日) 舟窪 (6:45) ~ 清水峠 (10:30) ~ 土樽駅 (12:00)

